

事業所名		ホップ				支援プログラム（参考様式）				作成日		令和7 年 3 月 1 日	
法人（事業所）理念		(1) 子どもを大切にする（一人一人の課題に沿って丁寧に支援する） (2) 保護者を大切にする（保護者の願いに寄り添い、喜びや悩みを共有する） (3) 職員を大切にする（働き続けられる環境を作り、ともに悩み、話し合い、子どもたちの成長を目指す）											
支援方針		(1) 児童の心身の特性を踏まえて、日常生活における基本的動作と集団生活への適応、社会的自立を目指す等児童の発達に応じた療育を行う (2) 事業の実施にあたっては、地域との結びつきを重視し、関係機関との密接な連携を図ると共に、児童の人権の擁護・虐待の防止等を整備し生活全般にわたる援助を行う											
営業時間		9 12	時	30 30	分から	18 18	時	0 30	分まで	送迎実施の有無	ありなし		
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握 ・健康状態の維持、改善 ・食事、睡眠、排泄、着替え等生活に必要な基本的技能の獲得を支援 ・生活リズムや生活習慣の形成											
	運動・感覚	・室内での粗大運動や外遊びなどで思い切り体を動かす ・姿勢と運動、動作の基本的技能の向上 ・保有する感覚の活用											
	認知・行動	・場所への安心感を得やすいよう、好きな遊びから始めるようなスケジュールと環境の調整 ・認知の特性についての理解と対応 ・感覚の活用や認知機能の発達を促す											
	言語 コミュニケーション	・言葉になりきらない思いを大人が受け止め、言語化し、自分の感情と言葉や表現が一致していくように促す ・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける ・コミュニケーション機器の活用											
	人間関係 社会性	・ありのままの姿を認め、人と関わり安心感を得ることを積み重ねていく ・遊びなどを通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援 ・アタッチメント（愛着行動）の形成											
家族支援		・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ・保護者同士の交流の機会の提供 ・子育てや障害等に関する情報提供					移行支援		・移行先と調整、情報共有や支援方法の伝達、援助 ・進路の選択について相談援助や様々な準備の支援 ・支援内容についての情報共有やすり合わせ				
地域支援・地域連携		・児童発達支援センターや学校との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組 ・相談支援や他事業所との連携 ・保健センターや基幹センター等との情報連携や調整等の取組					職員の質の向上		・事業所内研修の実施、外部研修参加者からの全体への周知研修（虐待や子どもの支援について、BCP等） ・あい・さかいサポート養成研修や強度行動障害支援者養成研修の受講				
主な行事等		・季節ごとのイベント（お花見、プール、ハロウィン、クリスマス会など） ・お誕生日会や季節の合わせたクッキング（スイートポテト、バレンタイン、おはぎなど） ・長期休みの外出体験（お買い物や体育館、プラネタリウム等）											